

が最も認められ、機械力においてはアセテートの10時間洗淨、pH ではナイロン、アセテートとも酸性側に変化が出、浴温度ではナイロンにやや影響がみられた。

一般に粘度変化は従来行なって来た引張り強伸度ならびに外観上の変化に比べ顕著ではなかった。

B-14 合織の洗淨による劣化について(III)

高知大教育 西村 久子
○吉川 せつ

1. 合成繊維の洗淨過程における劣化について今回は主として繊維に生じる化学的变化をその溶解液の粘度から考察した。

2. 試料は前年通りポリアミドならびにアセテート100%平織タフタとし、粘度測定は30°Cで水の流下速度約30秒のオストワルド計を用い、溶剤はギ酸およびアセトン、試料濃度0.1~1.0%とし30±0.02°Cで3~5回測定して平均値をとり相対粘度を算出した。

3. 実験としては機械力と紫外線の影響ならびに洗剤のpHによる変化をみ、さらにこれらの総合、くり返しによる効果を測定した。その結果紫外線による粘度低下